

5 新型コロナウイルスなどの感染症への対応

項目	現状・取組実績	課題	今後の取組・方向性
<p>新型コロナウイルスなどの感染症への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の流行により、全ての医療機関で感染管理の強化が求められているが、道立病院局で感染管理に精通している職員（感染管理認定看護師）は3名のみ。 ○感染対策として、情報収集や院内の配置体制の整備など、対応業務が増大したが、コドモックル以外の4病院では専従職員が配置されていない状況。 ○各道立病院内に「院内感染対策委員会」を設置して、定期的な院内巡回により点検と改善を行っているほか、「院内感染マニュアル」を整備し感染防止に努めている。 ○新型コロナウイルスへの対応については、院内への侵入防止のための出入り口での手指消毒の徹底や受付へのビニールやアクリル板の設置など水際対策を実施している。 ○新型コロナウイルス陽性患者の受入を想定している病院においては、病床確保はもとより病室への移動の際のゾーニングや防護対策などについて検討を行うなど、体制整備に向けた準備を進めている。 ○マスクやフェイスガード等の感染防護具等については、各病院において備蓄を進めるとともに、本庁においても卸業者から一括して購入し各病院へ配付するなど、確保に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各圏域における役割分担に応じて、他の医療機関や関係機関と連携し、新型コロナウイルス感染症患者・感染が疑われる患者へ適切に対応できるよう、必要な診療体制の構築に努めることが必要。 ◆感染管理に精通する職員の配置や感染防止に向けた研修の開催など、院内体制を強化することが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各圏域における役割分担に応じて、他の医療機関や関係機関との連携の上、新型コロナウイルスをはじめ、感染症患者や感染が疑われる患者への適切な対応ができるよう、必要な診療体制の構築に努める。 ○感染管理認定看護師など感染管理に精通する職員の配置や感染防止に向けた研修の実施、感染予防策の徹底など、院内の体制強化に努めながら危機管理に取り組む。 ○各病院においてマスクやフェイスガード等の感染防護具の備蓄を進めるとともに、本庁においても卸業者から一括購入し各病院へ配付するなど、必要な感染防護具の確保に努める。